



暮らせる平田村を目指して

ひらた中央病院

MRIを導入しました。

～脳や脊髄、消化器官等の診断がより充実します～



小原 大治 医師

本年4月1日から当院ではMRIを導入、検査を始めました。MRIはCTと同様に体の断面像を撮影、病変の有無を判定するのに用います。MRIは磁石による磁場と電波を使って画像を得る装置です。CTと異なり、放射線による被曝はなく、小児や健常な方も安心して検査を受けることができます。MRIは脳や脊髄などの診断に適し、造影剤を使わずに主要な血管の画像も得られます。特に脳梗塞などの脳血管性疾患、認知症を含む変性疾患、脳腫瘍、外傷、脳血管のスクリーニング検査（脳動脈瘤）などに有用です。整形外科領域では頸椎症、胸椎・腰椎ヘルニア、脊髄腫瘍、脊髄血管奇形、骨軟部腫瘍、関節の靱帯損傷、半月板損傷など、消化器内科領域では肝臓、胆道、膵臓の腫瘍性病変や胆道、膵管のスクリーニング検査に有用です。多くの方々にとって非常に有用な検査機器ですが、磁場を使う検査のため、心臓ペースメーカー、人工内耳、人工中耳の人、磁性体の体内金属がある方は基本的に検査を受けられません。本人では判断できない場合が多いため、ご相談していただくことになります。



平田村を含む石川郡でも全国同様に高齢者が増加、認知症患者が増加しています。認知症を診療するにあたり、実際の症状以外に脳の萎縮の部位、程度などから認知症をより細分化、個々に対応するためにMRIの重要度が増してくると考えられ、当院ではアルツハイマー型認知症の早期発見のための、海馬傍回萎縮評価システムも導入しています。

現在、アルツハイマー型認知症を元の状態に戻す治療法はありません。本人が快適に暮らせるよう、また家族や介護者の負担を軽くすることが治療の目的となります。主な治療は、本人の感情や興味を刺激する「非薬物療法」、アルツハイマー型認知症の薬による「薬物療法」がありますが、早期発見、介入が重要です。

認知症が気になる様であれば、一度、当院脳神経内科を受診していただき、認知症もしくは軽度認知機能障害と診断されれば、保険内でMRI検査が可能です。患者様自身が大丈夫と思っていても、家族から異常を指摘される様な場合は受診を勧めます。



認知症になっても安心して

最後に脳ドックについて話します。脳ドックは主にMRIによる画像診断や血液検査などを行い、脳疾患の早期発見、予防を目的とした健康診断です。保険は適用されません。保険外なので強くは勧められませんが、下記の方には受診をお勧めします。

- ・ 家族や血縁者にくも膜下出血になった人がいる方（年齢不問）
- ・ 狭心症や心筋梗塞の既往がある方
- ・ 高血圧、糖尿病、脂質異常などの診断を受けている方
- ・ 50歳以上で飲酒、喫煙の習慣があり、検査を受けたことがない方
- ・ 検査で安心を得たい方



問い合わせ：ひらた中央病院 ☎ 55-3333

早期診断・治療のため、認知症初期集中チームが支援します。

認知症初期集中チームは、ご本人やご家族、民生委員、ケアマネージャーなどからの相談を受け、チーム員（地域包括支援センター、保健師）が家庭訪問を行い、サポート医やかかりつけ医、認知症疾患センターと協力・連携しながらご本人やご家族の自立した生活のサポートを行う専門チームです。平田村では、平成29年度から活動しています。

〈チーム員〉



認知症専門医



社会福祉士・
介護支援専門員



保健師

など

◆対象となる方

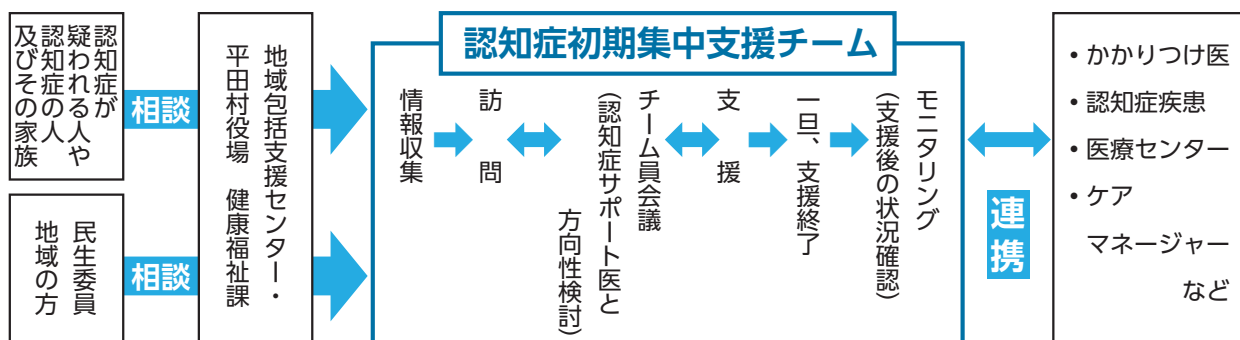
自宅で生活している認知症の方や、認知症が疑われる方

- ・ 認知症の診断を受けていない、または治療を中断している方
- ・ 医療サービスや介護サービス等を利用していない方
- ・ 何らかのサービスを利用しているが、認知症による症状が強く、対応の仕方に困っている方 など

◆これまでの活動とその効果

平成29年から現在まで、9名の方から相談を受け、チーム員が早期に支援しました。全員が医療機関の受診や、介護保険サービス等の利用に繋がっております。

◆対応の流れ



問い合わせ：健康福祉課 ☎ 55-3119 平田村地域包括支援センター ☎ 55-3125